## 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- ▼ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

## 道府県・政令市名【長野県千曲市】

## 学校名【千曲市立屋代小学校】

1 実践テーマ	<ul><li>【 ] · Ⅱ · (Ⅲ · Ⅳ · (V) (複数選択可)</li></ul>
2 実施対象者	千曲市立屋代小学校 5学年 69名
(学年·人数)	
3 展開の形式	(1) 学校における活動
	① 教科名(総合的な学習の時間、道徳、体育)
	(②) 行事名(聖山高原学校)
	③ その他 ( )
	(2) 地域における活動
	① イベント名( )
	② その他 ( )
4 目 標	・パラリンピックの特徴や発展について学びながら興味関心を
(ねらい)	深める。
	・パラスポーツに興味を持ち、実際にやってみたり、パラリンピ
	ックを観戦したりして、競技を楽しむことができる。
5 取組内容	
	(1) ボッチャ大会(聖上高京学校市大案)
	高原学校の雨天楽として、学年大ボッチャ大会を記憶していたが、天 気が良かったため、現地では行わず、学校ご戻ってから体育の時間で、
	大会を開催した。全
	チームが総当たりで
	きるトーナメント表
	を作成し取り組ん
	të e
	(2) 世界最初車、はテニスプレーヤー
	国村等」(道南)
	・努力と強い高品によって困難を乗り越え
	ていく国域選手の姿から、自分の姿を振り
	返り今後が生かす学習を行った。
	・授業の感想では、「国技選手の生き方を見
	7.
	自分なりの工夫をして努力をすることが大
	事だと思った。」「あー、できめった。とあ
	きらめるのではなく、前に触り気持ちで臨

むことが大事。」「ライバルは自分で、自分を言じ、あきらめないことで飲くなれることを学びました。」ということを書く姿が見られた。

(3) 車椅子バスケットボール観戦

東京2020パラリンピックの男子バスケットボールの映像を見た。また中でも鳥海蓮士選手の活躍に着目して、

新聞や衣インターネットを活用して鳥海選手の考え方や生き方に触れた。また長野市出身の藤沢選手の活躍にも注目した。



### 6 主な成果

- 今年は実際にオリンピックパラリンピックが開催されたこともあり、どの学習にも興味を持って取り組むことができた。これまではパラリンピックに対して「オリンピックに比べパラリンピックの方がレベルが低いんじゃないか。」とか「競技数も多くない。」といった感想を持っていたが。実際に学習して、健常者が行っているスポーツと大差ないこと。その人に合った用具等の工夫により、いろいろな競技に参加できること。スポーツすることを自分たちと同じように楽しんでいることを学習することができた。
- スポーツに真剣に取り組み、金メダルを目指す選手の気持ちには、障害のあるないは関係ないと言うことを学ぶことができたようだった。
- ・ボッチャは、授業時間以外も休み時間に友だちと声を掛け合って楽しむ姿が見られた。運動神経の良い悪いに関わらず、みんな同じような勝負ができるので、運動の苦手な児童も積極的に参加して楽しんでいた。

## 7実践において 工夫した点 (事業の特色)

- ・手軽にボッチャに取り組めるように、ボッチャの用具をそろ え、いつでも使っていいようにした。
- 実際に競技している国枝選手の動画をみせた。
- 男子車椅子バスケットボールの活躍を伝えるニュースや新聞 記事を子ども達に紹介した。

#### 8 主な課題等

- ・昨年度と併せて、学校に6コのボッチャセットが備わったので、授業に取り入れたり、交流で使ったり、他学年にも声をかけて活用してもらいたい。
- 車椅子バスケットの体験ができたら良かった。もっと計画的に進められれば良かった。

# 9 来年度以降の実施予定

- 今後も継続して続けていきたい。
- ・今年度は、年明けに夢の授業(オリンピック代表クラスのスポーツ選手の講義)があったので、講演会・体験授業をやらずじまいになってしまったので、年度初めにしっかり計画を立て、講演会や体験学習ができるようにしたい。